

27 観光・スポーツ振興の拠点や地域の憩いの場となる 公園整備の推進のための財源の拡充

公園は，そのまちの経済や景観・文化を映す鏡です。特に京都市では，住民はもとより，まちの魅力に大きな期待を持って訪れる多くの観光客に，安らぎと感動を与える公園整備の推進が求められます。

また，大規模な国際スポーツ大会が開催される「ゴールデン・スポーツイヤーズ」を契機に，大規模・競技用施設や，市民に身近なスポーツ施設の整備など，「多様なスポーツの機会の確保のための環境の整備」が求められています。これらの推進には国の支援が不可欠であり，次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 小川治兵衛作庭の池泉回遊式庭園を有する円山公園を名勝として将来にわたって維持・継承するための文化庁補助金の確保
- (2) 円山公園や横大路運動公園，街区公園などの整備を推進するための社会資本整備総合交付金の確保

(文化庁，国土交通省)

小川治兵衛作庭の池泉回遊式庭園を有する円山公園を名勝として将来にわたって維持・継承するための文化庁補助金の確保



開園から130年以上の歴史を持ち、小川治兵衛が作庭した池泉回遊式庭園を有する名勝。

文化財保護の観点と都市公園整備の整合を図り、名勝の再生を目指す、再整備を実施している。

現状・課題

- 施設の劣化や樹木の繁茂により、眺望・景観が悪化しており、風致景観の再構築が必要。
- 文化財を保護・活用する整備は、一般的な整備と比べ、高額となる。(総事業費約6億円)

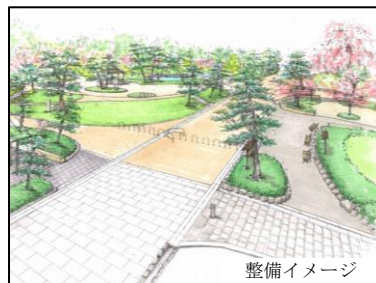
要望

歴史的風土と暮らし・にぎわいが複合する上質の京都に触れることができる「名勝円山公園」の魅力の再生には、**文化庁補助金の確保が必要!**

円山公園や横大路運動公園、街区公園などの整備を推進するための社会資本整備総合交付金の確保

老朽化対策、賑わいの創出 (円山公園)

- 老朽化した園路や休憩所等を改修するなど、公園の機能・快適性を高める整備を実施している。(総事業費約6億円)



整備イメージ

大規模運動公園の再整備 (横大路運動公園)

- 硬式野球場や多目的グラウンド等の整備と防災機能の強化
- 平成30年度に多目的グラウンド等の実施設計を行い、平成31年度から一部整備に着手予定
- 今後、硬式野球場の実施設計を行い、総事業費を精査する。



多目的グラウンド整備イメージ

通船復活にあわせた再整備 (東山自然緑地)

- 隣接する疏水において、平成30年3月に通船の本格的な運航を開始
- 公園施設が老朽化していることから、観光客をおもてなしする環境を整える事が急務(総事業費約5億円)



現状・課題

- 観光の拠点や市民スポーツ活動の受け皿となる公園、市民の憩いの場である街区公園などの整備を実施している。
- 必要な事業量に対して、交付金の配分が不足しており、予算の平準化などの対応をしているが、事業の進捗が遅れている。
- 平成31年度以降は、公園整備費が増大する見込み。

要望

今後、事業費の増加が見込まれる公園整備を着実に推進するには、**社会資本整備総合交付金の確保が必要!**